

歌川派

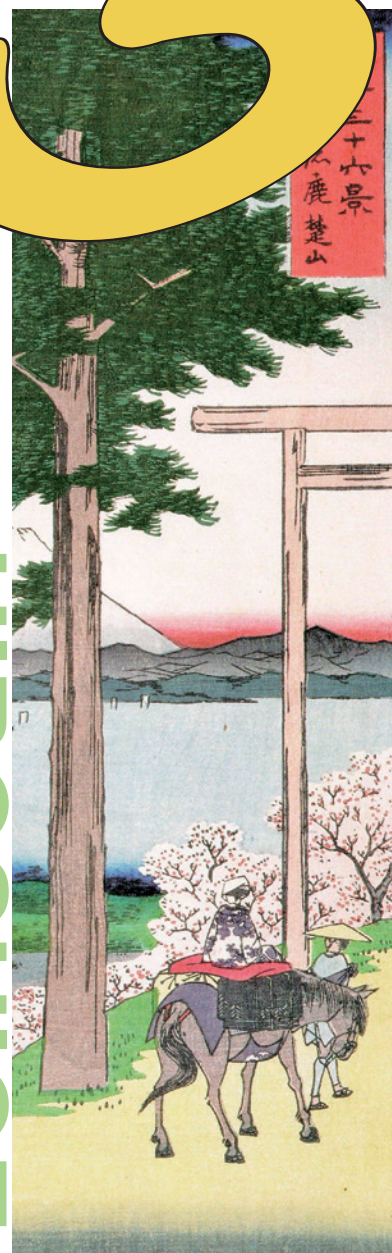
KUNIOYOSHI



TOYOKUNI



HIROSHIGE



江戸浮世絵界を彩る
歌川派の三巨匠
国芳 豊国 広重



2025. 1. 4(土) ~ 3. 16(日)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)・12/29 ~ 1/3

・学芸員ギャラリートーク 1/25(土)・2/22(土) 各13:30~

浮世絵の祖生地 きよなんの浮世絵ミュージアム

菱川師宣記念館

HISHIKAWA MORONOBU UKIYOE MUSEUM

〒299-1908 千葉県安房郡鋸南町吉浜516 ☎0470-55-4061

◆アクセス JR内房線保田駅下車 徒歩15分

電車 富津館山道路 鋸南保田ICより5分

国道127号沿い 道の駅きよなん内

◆開館時間 9:00~17:00 (入館16:30まで)

◆入館料 一般・大学生500円 小中高生400円

(団体20名以上 100円引き)





「梅暦見立八勝人 男達一富士の高右衛門」
歌川三代豊国



「擬五行盡之内 現難の土 横蔵」
歌川三代豊国



「東都高名會席盡 海老屋 海老さこの十」
歌川三代豊国・歌川広重



「六様性国芳自慢 赤口 大森彦七」
歌川国芳

歌川派の三巨匠 江戸の浮世を彩る

浮世絵は色鮮やかな多色摺版画「錦絵」と呼ばれた江戸後期に黄金期を迎えました。さまざまな浮世絵師が腕を競い、流派を形成し、多くの門人を抱え隆盛します。中でも浮世絵界最大派閥となった歌川派には、三人の巨匠が誕生しました。歌川国芳、歌川三代豊国、歌川広重です。

「豊国にがほ（似顔役者絵）、国芳むしゃ（武者絵）、広重めいしょ（名所絵）」と世にうたわれたように、三人は独自のスタイルで自分のジャンルを確立していきました。

この展覧会は、国芳・三代豊国・広重の三巨匠にスポットをあて、時に競い、時に連携し、どのように庶民の人気を獲得していったのか、彼らの作品とともに江戸の浮世絵文化をあらためて紹介します。



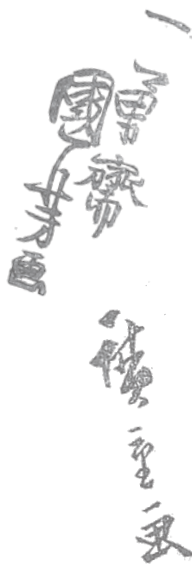
「富士三十六景 上総鹿楚山」
歌川広重



「虚と實 心の裏表」
歌川国芳



「山海めで度図會 一枝もらいたい 安房かつを」
歌川国芳



「富士三十六景 房州保田ノ海岸」
歌川広重

入館割引券

このチラシ
ご持参の方
2割引
(1グループまで)

浮世絵の祖出生地 きよなんの浮世絵ミュージアム

菱川師宣記念館

HISHIKAWA MORONOBU UKIYOE MUSEUM

千葉県安房郡鋸南町吉浜516 TEL 0470-55-4061
◆アクセス 電車 JR内房線 保田駅下車 徒歩15分
車 富津館山道路 鋸南保田IC下車 国道127号沿い 道の駅きよなん内
◆開館時間 9:00~17:00 (入館16:30まで)
◆入場料 一般・大学生500円 小中高生400円 (団体20名以上 100円引)
公式サイト <https://www.town.kyonan.chiba.jp/site/hishikawamorobukinenkan/>



菱川師宣記念館 HP

